

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

杜の家

(ユニット名)

北

記入者(管理者)

氏名

浅木 直美

評価完了日

平成 20 年 12 月 1 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念は職員が作成しているが、5年経っており、新しい職員は作られた理念になっている。		5年経っており、見直しが必要と考えている。来年度、職員全員での立て直しを予定している。
			(外部評価)		
			「利用者の生活を大切にしたい」という職員の思いから、「和やかで笑顔あふれる生活づくり」という理念が作られている。		さらに、事業所では「外に目を向けるためには、理念を見直すことも必要ではないか」と話しておられた。地域密着型サービス事業所として、貴事業所がどのようなことを目指していくのかということについて、話し合われてみてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			新しい職員には理念についての説明を行っている。また、毎朝の申し送りで復唱をし、日々理念を振り返りながら業務に取り組んでいる。		全職員が新しい職員に理念の説明ができ、自分自身の振り返りや見直しが行えるような体制をとっていきたい。
			(外部評価)		
			毎朝の申し送り時、理念を復唱されている。又、理念とともに今年の目標を掲示し、管理者は、職員のケアの場を捉え、理念に立ち返り取り組めるよう話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			市の相談員や民生委員、近所の保育所や病院職員の方との交流があり。運営推進会議を通して事業所の理念などを伝えてたり、ミニ介護講座を設けて認知症についての理解を求めている。		今後は、近隣の住民にも運営推進会議に参加してもらい、ご近所との付き合いも積極的に増やしていきたい。また、利用者の方と一緒に外に出る機会を増やしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 民家は少ないが、外庭の掃除や散歩、受診の時になどに挨拶をするように努めている。近くの保育園児も立ち寄ってくれている。		近隣のお年寄りも気軽に立ち寄れるような事を考えていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運動会や敬老会には、数名ではあるが参加している。また、ホームの夏祭り大会には地域の方もたくさん参加してくれている。 (外部評価) 地域の敬老会に参加されたり、事業所主催の餅つきや夏祭りに参加いただく等、地域との付き合いが少しずつ深まってきている。		市報を利用して地域の行事を知る。また、運動会などにも参加できるように普段から関わっていきたい。 事業所では「利用者個々が地域の一員として暮らす」ために、どのようにかかわっていくのかということについて、さらに考えていきたいと話しておられた。利用者の暮らしが地域の中で広がっていくような取り組みの工夫が期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 市町村と連携を取りながら、介護教室や認知症介護を受託している。		引き続き、市町村などと連携を取りながら体験学習なども受け入れていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 毎朝の申し送り時に出勤者全員で、何項目かずつ自己評価を行い、外部評価や自己評価の必要性を理解できるように努力している。また、外部評価の結果は職員全員で確認して改善に取り組んでいる。 (外部評価) 日々の申し送りの後に時間をもち、職員は日替わりでリーダーとなり、評価項目を少しずつ検討された。その結果、「日頃では聞けない職員それぞれの考えを聞けたり、課題も見えてきた」と話しておられた。この一年間、家族会の回数を増やされたり、地域とのかわりについては、敬老会への参加等に取り組まれた。		自分たちの考え方や意見だけでなく、他者の視点からの意見も参考にして改善に取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議では、サービスの内容や行事、設備などについて報告を行っている。また、改善点など積極的な意見を出してもらい、可能な範囲で改善し、事後報告させてもらっている。		ご近所の方にも参加をしていただけるように努力し、より多くの意見をいただきサービス向上に活かしていきたい。
			(外部評価)		
			民生委員の方や介護相談員の方等、地域の委員の方の出席をいただき、活発な意見をいただいている。代表者は、必ず出席し、意見についてその場で答えられたり、後日改善できるものに関しては報告をされている。又、ミニ介護講座も同時に開催されている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			利用者の事故（転倒、入院等）報告し指導や助言を受けたり、サービスの質の向上の為に関係作りを積極的に行っている。毎月、市の相談員の方も来訪してくれている。		
			(外部評価)		
			市の担当者から認知症に関する相談を受けることもある。年4回行われる市主催のサービス連絡向上会議に参加されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			人権擁護委員の方の来訪があったり、研修や勉強会にできるだけ参加して学ぶ機会を持つようにしている。現在、利用者はいないが必要に応じて活用できるようにしている。		今後も勉強会や研修に積極的に参加していきたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修や社内の勉強会で、定期的に虐待防止について学んでいる。また、ミーティングでも話し合い職員間でも気をつけるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者の方、家族の方が理解や納得ができるように時間をかけて話し合っている。		不安や疑問が少しでも軽減できるように話しやすいような雰囲気作りに努めていきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 相談員の方が定期的に来てくれており、利用者の方の相談にのっていただいている。改善点がある場合は、すぐに対応するようにしている。また、いつでも話しやすい雰囲気づくりを心がけている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 健康状態や受診状況に関しては、電話や面会時に必ず報告するようにしている。また、生活状況や写真を同封した便りを送らせてもらっている。金銭管理は出納帳に記入し、面会時に確認してもらっている。		家族の方より、職員の異動は事前に知らせてほしいとの希望あり。異動後の報告ではなく、事前に掲示板に貼り出すようにしていきたい。
			(外部評価) ご家族の来訪は頻繁にあり、その際、日頃の状態を報告されている。又、3ヶ月に1回は手紙に、写真を同封して状況報告をされている。事業所で受診に同行した場合には、カードを作成し、ご家族に結果が必ず伝わるようにされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 相談員の方が定期的に来てくれており、家族の方の相談にのっていただいている。苦情は報告書を利用し、ミーティングにて話し合い改善している。また、家族会にてアンケートを実施し意見を聞いている。		来年度から家族会を年2回実施予定。また普段の会話から希望や意向がくみ取れるよう会話を多く持つよう心がけたい。
			(外部評価) 「ご家族同士が話し合える機会を増やしてほしい」という意見があり、家族会を年2回に増やされた。「職員の名前と顔が一致しない」という意見があり、顔写真入りで手紙にて紹介することになった。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃の業務の中で不安や提案事項はできるだけ聞くようにし、職員と共に話し合い少しでも解決できるよう努めているが十分ではない。		本音のところまでは十分に聞けていないので、勉強会等を通してBS法を用いて意見が聞けるような取り組みをしていきたい。また意見が言いやすいような雰囲気づくりを心がけていきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に合わせた勤務体制がとれており、緊急時や夜間の呼び出しにも対応できるようになっている。職員の急病や急な休みにも、職員間の協力を得て調整できている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動があった時や新規採用者には利用者の方や、家族の方にも紹介し、不安を与えないよう努めている。		玄関に置いてある掲示板を活用し、異動や新規採用者の写真等を掲示していく。
			(外部評価) 異動があった場合には、顔写真とメッセージを玄関に掲示されている。法人主催のイベント時には、法人内の全利用者、職員が顔を合わせている。		
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修班を設置し年間を通して新人、1年、3年、5年経験の段階に応じた研修を実施し参加してもらっている。また毎月勉強会を通じ勉強をする機会も設けており、外部の研修にも参加できるようにしている。		新人教育については新しい職員が新人を教えるようにし自分自身の振り返りが行えるようにしていく。
			(外部評価) 研修班を設置し、経験年数に応じた研修を行っておられる。さらに、アイデア班・安全衛生班・パソコン班を設置し、法人内の行事等の企画やヒヤリハットへの対応等、担当が中心となって取り組む仕組みを作っておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>学習会や研修を通して交流を図れるように努めている。また、相互研修にも毎年参加し、意見交換やサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		相互研修以外にも他のグループホームの見学へ行き交流を図れるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			<p>県GH協議会の研修では、事例検討や他事業所の意見を聴くような機会もある。相互研修参加時には、他事業所の方と事例検討されたり、居室のしつらえ等についても参考にされた。</p>		
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>休憩ができる場を設けている。日常の会話の中からもストレスに対する悩みを把握するよう努めている。毎週、体育館を借りソフトバレーやバドミントンを行っており、気軽に言い出せる場も作っている。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>各職員の勤務状態や健康状態を把握している。また、職員の資格取得に向けた支援も行っている。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>相談時にできるだけ本人とゆっくり話す機会を設けている。利用者の方の会話や行動により不安なこともくみ取る努力をしている。</p>		<p>日常の会話の中から利用者の方、家族の方から情報を得た際には、職員全員で共有できるフェイスシートを活用している。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の方も含めての面談を行い、困っていることや不安や求めていること等を聞く機会をもち、これまでの生活が少しでも維持できるよう努めている。		情報収集を行い、少しでもこれまでの生活が維持できるよう努めていく。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ケアマネジャーと連絡をとり、必要としているサービスが提供できるようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人さんや家族の方から性格や生活歴を聞き、気持ちや環境に配慮するように努めている。入居開始後は家族の方に様子を伝え、連絡を密にして、本人さん、家族の方の不安の軽減に努めている。 (外部評価) 職員は、「入居するということは、ご本人・ご家族にとって不安が大きい」と理解して、何事も無理強いしないことを心がけられている。新しく入居された方に、利用者の方達が話しかけてくださることを、職員はそっと支えておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の方のできることをフェイスシートを活用し把握するよう努めている。また、利用者の方に助けてもらったり教えてもらったりする場面がある。教えてもらったときには感謝の気持ちを伝えている。 (外部評価) 若い職員の方は、利用者から調理の下ごしらえや味付けを覚えてもらうことも多い。		敬う気持ちや人生の先輩ということを念頭に置き、利用者の方の話の中から学べるよう謙虚な気持ちを持つよう努めていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事の案内をして一緒に参加してもらいながら利用者の方と楽しく過ごせるように努めている。面会時には日頃の様子を報告し、要望を聞きながら協力もお願いしている。		掲示板を利用したり、面会時には行事の呼びかけを行っていく。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) フェイスシートを利用し、今まで生活のこと等も家族の方に聞きながら作成し共有している。家族の方が面会に来やすいよう日々様子を報告するよう努めている。		状態変化の時だけでなく良いことや、ちょっとしたことでも報告していくよう努める。今年度より、フェイスシートを新しくしており、家族の方から情報を得たり協力が得られるよう努力している。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人の面会はあるが、馴染みの場所へはあまり行っていない。家族の方の協力を得て外出へは出かけている。		利用者の方一人ひとりの馴染みの場所を知り、気軽に出かけられるようにする。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 気の合う人同士で過ごせるよう座る位置にも配慮している。利用者同士の関係を職員が常に把握し、状況に応じて見守りを行っている。		居室で過ごされている方への関わりを増やしていくよう努める。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院され、退所となった利用者の方にも面会へ行き、家族の方からの相談を受け連絡をとっている。		家族の方との連絡や相談を聞いたりして関係が続くよう努めてきたい。また、行事への参加の呼びかけも行っていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の関わりの中での言葉や表現から把握するように努めている。意思疎通の困難な方には家族の方から情報を得ている。		利用者の方一人ひとりの気持ちを聞きながら、思いを大切にしていきたい。
			(外部評価)		
			ご本人の思いをできるだけ汲み取ることができるよう、職員は、「日々のかかわりの中で利用者の言葉は、注意して聴く」ことに心がけておられる。		利用者の情報収集について工夫を重ねておられる途中で、「聞き取りやすいよう」「記入しやすいよう」すすめておられた。管理者は、アセスメントをさらに充実させたいと話されていた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			生活歴や昔の様子などは聞いているが十分とは言えない。		フェイスシートの利用はしているが、職員が情報を同じように把握できていないので、フェイスシートを活用したり、利用者の方、家族の方との会話を大切にしていきたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			健康面や体力等も考慮し、無理のない生活の支援をしている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者の方や家族の方の意向を聞き、職員間でも情報交換を行いながら介護計画を作成している。		今後は、利用者の方や家族の方を交えての話し合いも積極的に行う。また、普段の会話から望まれていることを把握していきたい。
			(外部評価)		
			ご本人ご家族の意向を聞き取り、介護計画を作成されている。意向を聞いて計画を立てることで、より具体的な内容で取り組むことができると話しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			6か月に1回は見直しを行っているが随時には行えていないことがある。状態に変化が起きた場合、関係者との話し合いは行っているが計画に反映できていないことがある。		状態に応じて、カンファレンスや介護計画の作成を行っていききたい。
			(外部評価)		
			介護計画は、半年ごとの見直しとなっている。状態に変化があった場合は、ご家族と話し合っ、見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			カルテに食事量、水分量、排泄等を記入しており、日々の様子も利用者の方の言葉でありのまま記入するよう努めている。		日々の様子が介護計画に反映されるよう職員間で情報の共有ができるようにしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			利用者の方、家族の方の状況に応じて通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足感を高めるよう努力している。また、リハビリ室がフルーツの家に設けられており他のユニットの人たちとも馴染みの関係ができています。		リハビリ室の活用を増やし、個々に合った機能訓練の支援もしていきたい。
			(外部評価)		
			ご家族のお墓参りがしたいという希望に応えられたり、行きたかった場所等を探り、出かけられるよう支援されている。希望でリハビリルームを利用できるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 近くに病院やスーパー等があり、民生委員の方や相談員の方も来てくれ協力してもらっている。防火訓練も行い消防の方にも協力してもらっている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 事業所内のケアマネジャーと接点が多いため地域のケアマネジャーと話す機会が少ない		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 年に4回サービス連絡向上会議（事業所、地域包括支援センター、相談員）を行っており参加させてもらっている。地域包括支援センターの職員の方とは周辺情報や支援に関する情報交換ができる関係を築いており協力してもらっている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 看護師が対応し、連携医療も確保している。必要な時や希望がある時も随時対応している。 (外部評価) 入居前の主治医にかかっておられる場合も、継続して医療を受けられるよう支援されている。入居時、協力医について説明されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 連携病院の医師は理解があり、利用者の方の治療に応じて相談させてもらったり、助言をいただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師を配置しており、利用者の方の健康管理や状態の変化に応じた支援を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院へ訪問し、主治医、病棟師長、ケースワーカー等に経過を確認し、退院後の受け入れ態勢を整えることに努めている。家族の方と情報交換や希望も確認し、早期退院の支援をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期を迎えるにあたり、早い段階から家族の方、医師との話し合いを持っている。終末期に関しての指針を定めている(家族の方、主治医の協力がある。医療行為は行わない。)また、職員間の意識の確認も行っている。 (外部評価) 入居時、終末期の支援について説明を行い、必要に応じて具体的に相談をされている。「主治医の説明・ご家族の意見や協力・職員の対応・訪問看護の協力を得て、終末期の支援が可能になる」と話しておられた。		これまでに3例の終末期の支援で、利用者の方や家族の方の思いの大切さを学ぶことができ感謝している。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族の方とも十分に話し合いながら利用者の方や家族の方の気持ちを大切に安心感が持てるよう対応している。急変時にはすぐに対応してもらうよう医療機関との連携もとれている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移られた時はケアプランや記録を渡して日々の様子や健康面等の情報交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人ひとりに合わせプライバシーを損ねないように努めている。また、言葉かけや対応にも配慮するよう心がけている。		プライバシーについてや言葉かけ等の対応についてはその都度話し合う機会をもつようにする。
			(外部評価)		
			他の方に聴かれたくないようなお話は、居室にて聴くようにされている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の方に合わせて声かけをし、意志表示の難しい方には表情を読み取るように努めている。利用者の方の意思を大切にしよう心がけている。		自己決定ができるような場面を作っていきたい。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			出来る限り利用者の方のペースに合わせてるように心がけている。一人ひとり利用者の方の気持ちや希望を聞き生活してもらえよう努めている。		業務が優先にならないように利用者の方のペースに合わせて動くようにする。希望がある時には希望に添えるよう努力していく。
			(外部評価)		
			利用者個々の起床時間に合わせて食事を支援されたり、ご家族と居室で食事をされる方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 服装はなるべく自分で好んだものを着てもらうようにしているが十分でない。散髪は美容師の方に2ヶ月に1回ホームにて来てもらっている。		利用者の方に好きな服をゆっくり選んでもらえるように努める。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備や片付けはほとんど職員が行っているが、エビの皮むきやゴボウのさがきなど出来ることは手伝ってもらっている。		畑を活用し、家族の方の協力を得ながら利用者の方にも手伝ってもらっている。できていない方への支援を考えていく。
			(外部評価) 畑で収穫した野菜を使って調理されたり、食事の下ごしらえを利用者もともにされている。利用者に教わりながら、みなで干し柿作りをされた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在お酒やタバコを望まれる方はいない。飲み物やおやつはできるだけ希望に添えるように努めているが十分ではない。		おやつ等も好みのもを食べてもらえるよう検討していく。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 出来るだけトイレでの排泄を考え排泄パターンを記録し、トイレ誘導を行っている。紙パンツから普通パンツへ変更できた方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			時間帯等の希望を聞きながらタイミングに合わせて入浴してもらえよう心がけているが、職員の都合に合わせてもらってしまうこともある。		希望が言えるような雰囲気作りや声掛けの工夫をする
			(外部評価)		
			朝、入浴を希望される方や一番風呂がお好きな方、又、毎日入浴される方もいる。気の進まない方には、タイミングを見ながら声をかけるようにされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			家族の方に生活習慣を聞きながら、体調などその方に合わせて居室で休んでもらっている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯干しや洗濯たたみ、食事の準備、菜園など、状態に応じてできることをしてもらっている。少しでも出来ることは手伝ってもらえるように心がけている。		できることを手伝ってもらったり、野菜などの収穫で楽しんだり喜んでもらったりできるように支援していきたい。
			(外部評価)		
			往診に来た先生のお世話をされる利用者や、洗濯物を干したり畳んだり、畑仕事の手伝いや居室の掃除、お好きな花の水遣りをされたり、カラオケを楽しむ方もおられる。1週間に1回、パン屋さんの訪問販売も楽しみの一つになっている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自分で財布を持っている方もいるが、ほとんどの方はホームでお金を預かったり、立て替え等で対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			季節ごとの外出は行っているが日々の中での外出は十分ではない。		利用者の方の希望がある時には希望に合わせて外出ができるようにする。
			(外部評価)		
			誕生日には、希望を聞いて回転寿司に出かけたり、「おいしいうどん屋」と言われるお店に出かけてみることもある。天気と体調の良い時には、散歩をされたり、庭の畑を見に戸外に出たり、外で洗濯物を干したりされている。		さらに、事業所では、ご本人の「本当にいきたい場所」や「馴染みの場所」を探り、外出を支援していきたいと考えておられた。利用者個々のさらなる楽しみや、生活の拡がりに向けた支援が期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族の方の協力が得られる方へはお願いしているが十分ではない。		今後家族の方も一緒に行けるよう呼びかけたり、協力をしていただけるよう努力したい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族の方の協力を得て希望に添えるように努めている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			お茶等を出して、居室やホールで自由にゆっくり過ごしてもらえるよう心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組んでおり、職員間でも話し合いを行ったり勉強会にて学ぶ機会を設けている。		定期的な勉強会を継続し、職員の意識を高める。また、普段の言葉づかい等にも気をつけていく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は玄関の出入りを自由に行っているが、常に見守りを行っている。居室のドアは全て同じであるがトイレ等の表札はつけず声かけでの対応を行い、ホームの雰囲気や壊さないようにしている。		
			(外部評価) 日中は施錠せず、外出される方には職員が付き添うようにされている。玄関にはチャイムが設置され、来訪者や利用者の出入りが分かるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中の記録等はホールで利用者の方の傍で行っている。また、夜間もホールで全体が見渡せるようにして1時間毎に巡回を行っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の方の状態に応じて管理してもらったり、ホームで預からせていただいている。洗剤やハイター等は目のつきにくい場所へ置くようにしている。		なくすばかりではなく見守りを十分にし、関わっていくよう取り組んでいきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットや事故報告書を提出し、月1回の安全会議で全部署で共有できるよう話している。また、事業所で改善策を話し合い事故防止に取り組んでいる。マニュアルも作成し、いつでも確認できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会などで緊急時の対応を学ぶ機会を設けている。消防の救急隊員の方に来ていただき、心肺蘇生法やAEDの使用方法を指導を受けている。		全ての職員が行えるよう社内の研修等で行えるような体制を取っていききたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 毎月抜き打ちの避難訓練を行い、年2回は消防署の指導も受けている。家族の方の協力していただいている。 (外部評価) 年2回、消防署の協力を得て避難訓練を行っておられ、月1回、事業所独自で抜き打ち避難訓練を実施されている。回数を重ね、利用者も慌てることなく玄関に移動されるようになった。災害時は、近隣のクラレや病院の協力が得られるようになっている。		訓練の為に訓練にならないようにいざという時の為に数分でも早く避難できるように、緊張感を持って継続していききたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時に希望を聞いたり、緊急の場合は電話報告をしている。また、受診状況も随時報告している。ケース検討会議や業務改善会議、サービス担当者会議等で職員とも話し合う場を持っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 適宜バイタルサインのチェックを行ったり、食事量や顔色を見たり体調の変化や普段との違いを報告するよう努めている。また、緊急時には受診をし、家族の方にも報告している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 看護師が確認し整理している。変更時は看護師から職員に説明し、全員が把握できるように記録にのこしている。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 食事やおやつにて食物繊維の多い芋類や海藻や豆、キノコや野菜類等は毎日食べていただいている。また、水分補給を十分に行うよう工夫している。散歩や車椅子上での運動も心がけている。</p>		<p>食物繊維が多く含まれる、雑穀米も取り入れたい。</p>
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後にその方に応じた口腔ケアを行っている。また、歯科受診時は口腔ケアの指導も受けている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 1日栄養所要量(熱量1300Kcal、蛋白50g)を基に献立作成しているが、あくまで目安であり季節感や個人の嗜好などを重視している。咀嚼力や嚥下状態に合わせ材料を選び、キザミやとろみをつける等の調理工夫を行っている。水分は食事に果物や汁物等をつけたり、いつでも飲めるように準備している。</p> <p>(外部評価) 利用者の状態に合わせて調理をされている。生野菜が苦手な方にはゆで野菜にされたり、刺身が苦手な方には煮魚にする等、好みにも配慮されている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 勉強会で職員全員に手洗い、うがいの励行を徹底している。ハイターによる消毒等も毎日に行い、感染予防に努めている。インフルエンザ予防接種も利用者の方、職員ともに終了している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>作業前に調理者の衛生面をチェックをしている。まな板、包丁は食材別に使い分けている。まな板などの調理器具はハイター消毒、煮沸消毒を毎日行っている。食材は旬の物や地元産の新鮮な物を選んでいる。在庫はあまり置かないようにし、週に一度在庫整理をしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日中はいつでも出入りできるようにしている。玄関の自動ドアも違和感のないよう木造にしており、玄関周りには植木や花等で雰囲気作りに心がけている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>内装は木目調で落ち着いた雰囲気があり、浴室やトイレは一般家庭と同じものを使用している。日中は眩しくないよう時間や天候に合わせてレースのカーテンを使用している。職員の会話のトーンや戸の開閉には気をつけているが十分ではない。</p>		<p>職員の会話のトーンは、職員間で注意したりミーティングで意識づけをしていく。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>杉の木を使った内装で、通路等も広めになっている。玄関の掲示板は、調和を考えて、「落ち着いた色」にされている。収納庫等もあり、整理整頓がなされている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居室は個室である。ホールや玄関にはソファや畳のベンチがあり、自由に過ごせるようになっている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅で使っていたものを持ってきている方は少ないが、毛布や人形を持ってきていたり、家族の方の写真や絵を置いたりして工夫している。		
			(外部評価)		
			体調に応じて加湿器を置いておられる方や、お花の好きな方は植木鉢を置いて世話をされていた。友人からの手作り手芸のプレゼントやご家族の絵や写真も飾られていた。シーツをピンクにして軟らかい感じにする等、ご家族の協力を得て、ご本人の居心地良い空間作りに取り組まれている。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温度計、湿度計を設置し適宜換気を行っている。衣類の調整や膝掛け等を使用し適温を保てるよう努めている。汚物は蓋つきのバケツを使用し、トイレ掃除は1日3回行いハイター消毒を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			物干し竿の高さの調整ができるようになっている。手すりも取り付けしており、廊下には歩行の障害になるものは置かないようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			各居室には表札や花の写真をかけており、わかりやすいよう工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			中庭にはベンチやテーブルがあり自由に使えるようにしている。畑があり家族の方の協力を得ながら野菜を育てており、手入れや収穫等楽しんでもらっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 1 ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんど掴んでいない)	フェイスシートを利用して意向を知るように努めているが、その時のタイミングや体調により実行できていないことがある。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない)	夕方や夜間は比較的多くゆったりと話したり一緒に過ごす時間が持てているが、時にはゆったり過ごせていないことがある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない)	その時々希望を聞きながら過ごしてもらえるように援助しているが、タイミング良く援助できていない時がある。また、希望を言いやすい雰囲気作りが十分でないと思う。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない)	出来ることは行ってもらいながら、必要な時援助したり一緒に行ったりすることにより笑顔が見られていると思う。一部の方は職員が援助する機会が多く、生き生きとした姿が見られることが少ないように思う。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない)	洗濯干しや中庭での食事等近隣の散歩は行っているが、一人一人その時に応じた外出の援助は不十分である。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない)	医療面においては、1回/2週の協力病院からの往診や体調をみて適宜受診を行っている。安全面においては目配りをし気をつけてはいるが、転倒等安全面で不安なところがある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない)	その時々希望を聞き柔軟に支援できるよう努めているが、出来ていないことがある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己 1 ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない)	家族の方の面会も多く出来るだけゆっくりと話を聞いたり、電話などで連絡をとりあい言いやすい関係が築けるよう心がけているが、面会の少ない方や家族が遠方の方には十分でないと思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 1 ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない)	近隣の保育園の方が訪ねて来ている。普段から近隣の方と関わりを持ち、気軽に立ち寄れるような雰囲気作りを心がけていきたい。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ②	会議を通してグループホームについての理解が深まったり、行事への参加が増えてきている。また、希望を言ってもらえるような関係作りが出来てきている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ② ③ ④	職員間で声を掛け合い、助け合いながら生き活きと働いている。意見も出し合いながら仕事できている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ ② ③ ④	出来る限りその方の希望に添えるように努めているが、ゆっくりと話をすればもっと希望が出てくるのではないかなと思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ ② ③ ④	希望の言いやすい雰囲気作りをこころがけて、ホームに対しての要望が増えてきている。本音の部分まで聞ければより満足度につながっていくのではないかなと思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ホームの建物は平屋で広々とした田舎風の落ち着いた雰囲気のある住まいです。
- ・職員は笑顔を大切に、優しい声かけや対応を心がけています。
- ・玄関にボードを置き利用者の方の写真を飾ったり月の予定等を貼り、普段の生活を知ってもらおうよう努めています。
- ・毎年、餅つき大会や夏祭り大会(今年度より、盆踊り大会から名称を変更)を開催し地域の方々にも参加してもらってます。
- ・毎月行う行事には、手作りのゲームをしたり外出が出来ることが出来るような企画を立てるようにしています。
- ・利用者の方の誕生日に合わせて誕生日会を開き手作りケーキを作ったり、その方の希望に添えるような企画を立ててお祝いをしています。
- ・敷地内にある畑で野菜作りを行い、収穫などが利用者の楽しみの一つになればと努力しています。
- ・年2回の防火訓練(消防署員指導)と、月1回抜き打ちで避難訓練を実施しています。
- ・サービスの質を向上する為に、月1回の勉強会や勤続年数に応じた研修を行っています。